

どうも、ユウスケと申します。初投稿です。よろしくお願いします。

律「あ～…なんか寝れないな～」

時計の短針が、だんだんと【3】に近づいている。

今日はなんだか眠れない。普段なら今頃寝息を立てている時間だ。

律「誰かに電話でもしてみるか…？
でも、皆もう寝てるだろうしな～…
仕方ない、ワンセグでも見るか…」

そう思い、ケータイに手を伸ばした瞬間だった。

ピリリリ ピリリリ…

律「うわぁっ!？」

急にケータイに電話がかかって来た。いきなりだったので、メチャクチャびっくりした。

律「誰からだろ？こんな夜中に…」

とりあえず、電話に出してみる。

ピッ

律「もしもし」

紬『あ、夜分遅くにごめんなさい。紬です。』

律「ムギ!？ど、どうしたの？」

意外な時間に意外な人物から電話。こりやまた驚いた。

紬『ごめんなさい…。寝てた?』

律「いや、今日は何か眠れなくて…まだ起きてる。ムギも眠れないのか？」

紬『ええ。それもあるけど、ちょっと伝えたいことがあって…。』

律「え?こんな夜中に?」

紬『うん。』

律「なににに?このお姉さんに言ってごらんなさい!」

紬『実はね…明日のお菓子は、シフォンケーキなんだよ。』

律「お、やったー!楽しみにしてるわ!…で、それだけ?」

今日のムギはなんか変だ。まあ、日付が変わってまだ数時間しか経ってないが、

紬『ごめんね、りっちゃん。
今のはね…電話をするための口実なの。』

律「え?それってどういう…」

紬『私はただ…眠れないからりっちゃんの声が聞きたかっただけよ。』

律「ふえ!？」

紬『ふふ、それじゃ、おやすみ。ありがとう。』

律「あ、ああ、それじゃあまた明日～…」

ブッ ツーツツ…

私の声を聞きたい、か…物好きだな、ムギも。

なんか少し嬉しくなった。

って、いつの時代のカップルだよ。なんてツッコミを自分で入れる。

時計を見ると、時刻はもう3時を回っていた。

律「よーし、明日はシフォンケーキだ！早く寝るぞー！」

ムギの落ち着いた声を聞いたおかげか、私はその後すぐに眠ることが出来た。

...また眠れないことがあったら、ムギに電話しようかな。

ある日の真夜中の、小さな出来事。

このSSの感想をどうぞ

名前:	<input type="text"/>
コメント:	<input type="text"/>

投稿

[すべてのコメントを見る](#)

- 甘いものは苦手ですが、僕もムギのシフォンケーキ食べてみたいですwコメントありがとうございました！ -- (ユウスケ) 2010-01-22 18:33:47
- 「声が聞きたかっただけ」その瞬間若干だが、レズいや「今日のムギはなんか変だ」からヤンデレにつながったのは俺だけではないはず！むぎのシフォンケーキ食べてみたいなあw -- (風) 2010-01-22 17:59:00
- コメントありがとうございます！これからも精進してまいります。 -- (ユウスケ) 2010-01-22 11:11:04
- 短いのにうまくまとめてあって、良いと思います。 -- (pw) 2010-01-22 01:21:14